201605v901

平成 27 年度 木曽三川下流地区広域観光連携協議会

視察交流会　報告書

平成 28 年 3 月

木曽三川下流地区広域観光連携協議会　事務局

木曽三川下流地区広域観光連携協議会　視察交流会

開催日時：平成 28 年 3 月 11 日（金）10 時から 16 時

プログラム：◆開会・概要説明　住吉浦防災船着場前広場

◆視察・乗船体験　住吉入江

新住吉橋船止設備（旋回可動式歩道橋）

玉重橋（押上げ昇開式可動橋）

住吉入江（2004 土木学会デザイン賞）

◆視察　揖斐川（住吉地区）　三水門

三之丸水門（スイングゲート　B5.0m×H9.25m）

川口水門（マイターゲート　B10.0m×H9.05m）

住吉水門（ライジングセクターゲート　B12.5m×H9.05m）

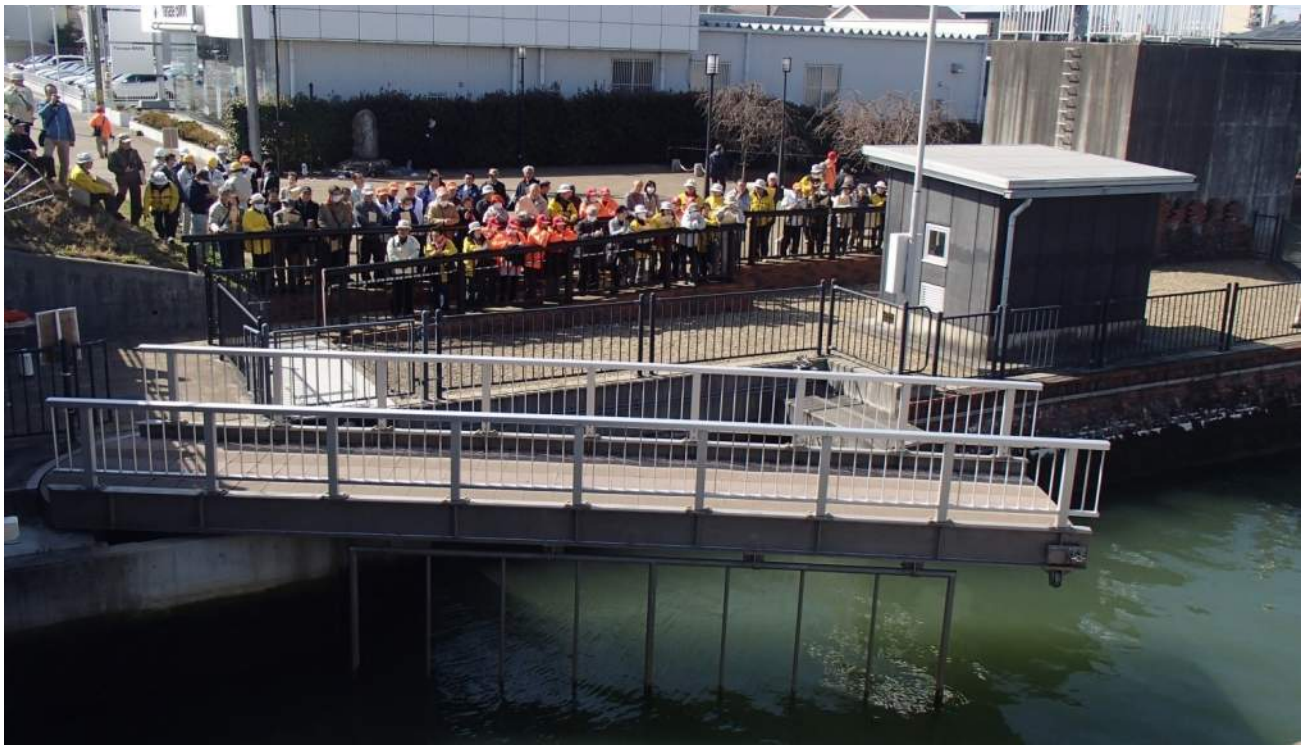
＜視察会＞開会・概要説明　10:00　　住吉浦防災船着場前広場

あいさつ　国土交通省木曽川下流河川事務所　澁谷慎一事務所長

古くは東海道の水陸のターミナルとして栄えた「住吉入江」は、船舶の暴風時避泊地、桑名市街地の内水排除を受け持ち、六華苑をはじめ「桑名歴史まちづくり」と調和した施設として、住吉地区の高潮堤、水門とあわせて整備された。昨年木曽三川公園「桑名七里の渡し公園」も開園して、来訪者の増加が期待されている。今回の視察交流会で得た知識を観光ガイドに役立てて頂き、木曽三川・桑名の素晴らしさを多くの方に伝えてください。

＜視察会＞新住吉橋船止設備（旋回可動式歩道橋）　10:10

桑名市都市整備部土木課より揖斐川の三水門の操作と併せて委託されている操作人の南部和義さんに操作して頂きました。片持ち片軸形式で旋回する船止設備は、反時計回りにおよそ５分程度掛かって収納されました。向かって右よりの灰色の建屋が操作室です。



日本車輌製造（株）輸機・インフラ本部技術第三グループ長の村瀬孝典さんに説明していただきました

格納完了後、桑名城お堀めぐり実行委員会による住吉入江乗船体験が開始されました。地元の方々が散策している歩道橋、その通行止め予告看板も実行委員会に設置して頂きました。

＜視察会＞玉重橋　（押上げ昇開式可動橋）　１回目 10:20　２回目 11:40

玉重橋の昇開は、桑名市都市整備部土木課維持第一係の皆さんによる市道通行止め作業から始まります。市道の通行止め後、安全確認をして頂いた後に、土木課から点検作業を委託されている施工者の佐藤鉄工（株）により昇開操作をして頂きました。

対岸で市道通行止めと点検作業監督を行う土木課維持第一係の加古さん、杉本さん、山川さん、伊藤さん、内田さん、片山さん、昇開操作を行う佐藤鉄工（株）の皆さん。

上路橋形式で昇開部が平常時には露出しない周辺景観との調和を考えた設計となっており、４本のスピンドル式ジャッキが橋台に埋め込まれており、橋台ごと連結軸で結ばれた２本のスピンドルを一つのモータで動かすため２つのモータを持ち、橋体バランス・変位差をシーケンサで検出計算しながら、可変速インバータでスピンドル回転速度を制御しながら昇開する極めて珍しい形式の可動橋です。本来ならば担当職員や操作人が操作可能な施設ですが、平成 11 年 12 月の架設から１６年を経過している電子制御系統が更新できておらず、操作時に突発的な故障が発生する可能性もあるため、緊急時以外の昇開は点検作業時にのみ行っており、そのため視察もその日程に合わせて実施しています。

桑名歴史案内人の会をはじめ、観光ボランティア、地域の方々、子どもたちが興味津々で見守る中、およそ８分で高さ 3.0mまで無事上昇しました。

佐藤鉄工（株）名古屋営業所長の高原和彦さんに説明して頂きました。
住吉入江と玉重橋は、レンガ張り護岸、桑名鋳物の高欄や手すり、照明も景観にあわせたデザインであり、構造も含めて大変苦心した。年月を経てさらに落ち着いてきた。護岸や橋の燈火と、灯りの映る水面、特に夜景が素晴らしいので、ぜひ夜間に乗船体験や視察をしてみて欲しい。

桑名市教育委員会文化課と桑名市立中央図書館所蔵の写真を借用して、昭和の初め頃と、平成の初め頃の住吉入江のパネル展示も行いました。

昇開した玉重橋を通過する体験乗船を楽しむ参加者。大潮明けの中潮の下げ潮時で、よく潮が引いており、写真の水位は TP マイナス 0.8m 程度です。設計水位 TP１．２mより約２m低いため、まきわら舟が通れるくらい余裕がありました。

桑名市市長公室ブランド推進課、経済環境部商工観光課の皆さんも、昇開した玉重橋を視察されていました。かつては水際に広がっていた町並みも、いまは水路と家々は生垣が隔てています。修景された水路敷を活かした町並みや賑わいが復活するといいですね。

山口誠輔氏撮影『桑名の景　№2』　№132　玉重から三崎見付　（桑名市中央図書館所蔵）

＜視察会＞住吉入江乗船体験　10:15

住吉入江の防災さん橋（船着場）から玉重橋、三崎見附までの往復乗船体験を、桑名城お堀めぐり実行委員会の長谷川さん、平井さんのご協力のもとで開催しました。

桑名商工会議所の東部商研の安達さん（とらや饅頭さん）が、桑名市都市整備部土木課へ一時作業の手続きをとって防災さん橋のたもとに緑のタープを設置されて、みたらし団子を販売されました。

＜視察会＞三之丸水門（スイングゲート　B5.0m×H9.25m　23ｔ）　10:50

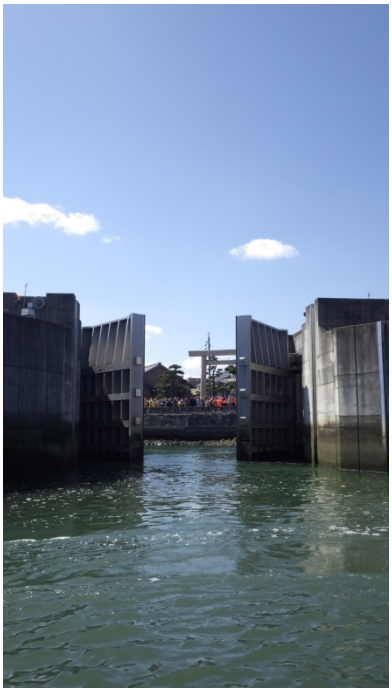
玉重橋から約 600m 東にある揖斐川の三之丸水門の点検操作の視察を行いました。操作は桑名市都市整備部土木課より委託されている操作人の南部和義さんにより、「蟠龍櫓」の１階にある操作室から遠隔操作して頂きました。景観に配慮した操作室である「蟠龍櫓」からは三之丸水門、川口水門、住吉水門が遠隔操作できます。

豊国工業㈱中部支店　支店長の宮重徹さんから説明を頂きました。川口水門は、スイングゲート（１枚扉で開閉する片開きドア構造）というタイプのステンレス鋼製ゲートで、開閉には約 30 分掛かります。油圧シリンダで開閉し、環境にやさしい「生分解性作動油」を使用しています。

揖斐川から桑名城三之丸堀跡に通じている水門で、三之丸コミュニティパークの雰囲気にマッチした施設となっています。

＜視察会＞川口水門（マイターゲート　B10.0m×H9.05m　53ｔ）　11:10

次に玉重橋から約 550m 東にある揖斐川の川口水門の点検操作の視察を行いました。揖斐川から七里の渡し跡、伊勢の国一の鳥居の前面に大きく構える水門です。操作は桑名市の委託操作人の南部和義さんに同じく遠隔操作して頂きました。



昨年、伊勢神宮内宮の宇治橋から遷されたばかりの「伊勢の国一の鳥居」は、まだ白々とした木肌が美しいです。鳥居を護るように設えられた重厚なコンクリートの堤防と、ブラスト処理したステンレス鋼は城壁か、要塞のような重厚感があります。左右それぞれが独立して可動できる観音開構造のゲートの開閉には約 40 分を要します。

七里の渡し跡で西田鉄工㈱　名古屋営業所　村井一道さんに説明して頂きました。スケッチブック（フリップ）を用いた説明は、野外で大変わかりやすく好評でした。

＜視察会＞住吉水門（ライジングセクターゲート　B12.5m×H9.05m　148ｔ）11:20

最後に玉重橋のある住吉入江へ揖斐川からの高潮遡上を防ぐ住吉水門の点検操作の視察を行いました。住吉入江の合流部は防災船着場として、水位に応じて上下する防災さん橋があり広い水面があります。揖斐川への出入り口となる水門は幅を広く取る必要があり、ライジングセクターゲートという扉体端部に取り付けた円盤を回転させて開閉を行うゲートで、扉体中央部はシェル構造です。サンドブラスト仕上げのステンレス鋼の扉体の開閉は油圧モーターラック式。桑名市の委託操作人の南部和義さんに水門脇にある操作盤を使って機側操作して頂きました。

当時、設計施工を石川島播磨重工業株式会社(現　株式会社ＩＨＩ)で担当されていた賀谷丈茂さん（(株)ＩＨＩインフラ建設鉄構事業部　副事業部長）にお越し頂いて、直接説明をして頂くことができました。

開閉には約１時間、停電時には自重で閉鎖する構造です。参加者からのたくさん質問が寄せられましたが、賀谷さんから丁寧にお応え頂きました。

＜交流会＞観光ボランティアガイドの交流会　　13:00

六華苑和館一の間をお借りして、木曽三川の観光ボランティアガイドの交流会を実施しました。三県四市の団体が初めて一堂に集まって、それぞれの代表者から団体紹介と活動報告を行いました。
すでに十五年余活動している団体から、発足後三年ほどの経験の浅い団体まで、それぞれの状況報告や課題が報告されました。申込み方法や活動内容、また高齢化、若い方々の参画が期待されるという意見が出されました。今後の連携がますます期待されます。

桑名歴史案内人の会のスライド

海津市は白色、弥富市はオレンジ、桑名市は黄色のユニホームです。愛西市はこれからユニホームが決まります。

桑名市歴史案内人の会
会長　中根靜也さん

弥富ふるさとガイドボランティア
会長　氣賀澤洋亘さん

海津市ボランティアガイドの会
ふる里おもてなし隊
会長　村上碩也さん

あいさいボランティアガイドの会
会長　荻野弘志さん

＜交流会＞　歴史を活かしたまちづくり桑名のお話し　13:30

住吉地区をはじめとする桑名歴史まちづくりに桑名市職員として関わって来られた石川さんに、歴史まちづくりの整備経緯、整備にあたっての苦労話や思い出、今後の木曽三川の観光連携についてお話しして頂きました。

HEY 総合研究所
アーバンプランナー　石川雅己さん

住吉入江や玉重橋の整備には、修景・景観設計という概念がまったく入っておらず、他の施設を視察に来た、土木施設の景観計画の第一人者である篠原修先生に厳しく怒られたことがきっかけだったこと、それから周辺の歴史的景観との調和を考えた設計計画に邁進することになった。

汐入庭園だった諸戸氏庭園をモチーフにして、住吉入江の終端、寺町堀や吉津屋堀までを修景整備した。三崎見附から寺町堀は暗渠で結んで、アマゾンを潮が溯るように吉津屋堀へ潮汐が伝わるように考えた。水路側に玄関・店先が立ち並ぶ姿をイメージしたが、まだ、そんな土地利用や風景が見られない。下水道整備でヤブ蚊も居なくなり、水質も向上した。堀沿いの桜が咲くと大変美しいのに、街並みが背を向けていることが残念である。水辺から離れてしまった気持ちが戻ってくる日を期待している。揖斐川沿いの吉之丸コミュニティパーク辺りは、かつて資材置き場にされたり、寂れた雰囲気の時あったが、桑名歴史まちづくり整備で見違えるように美しい公園になり大変嬉しいと、お話し頂きました。
こんな街になったら、こう在ったらいいなと、20 年くらい思い続けたら必ずカタチになるので、ぜひ皆様もいい街になるように思い続けて頂けたらと思います。

＜交流会＞
平成 28 年度広域観光連携協議会視察会を
弥富で開催します

今回、桑名の歴史まちづくりを視察して、弥富市よりも施設整備や観光交流が随分進んでいるという印象を受けました。
また様々な話しを聞いて、弥富市も新しいものだけでなく、旧い町並みや景観なども大事にしていけるとよいと感じた。

弥富市商工観光課　羽飼和彦課長

この９月には、広域観光連携協議会の催事として、金魚のせり市など皆様に弥富を見て知って頂けるようにしたい。ぜひお越しください。

＜交流会＞交流の記念に六華苑洋館前で記念撮影を行いました。　14:00

平成 27 年度木曽三川下流地区広域観光連携協議会視察交流会　参加団体の概要

■海津市ボランティアガイドの会　ふる里おもてなし隊
問合せ先：海津市観光協会
設　　立：平成 26 年４月　ガイド数：19 名　　管　　轄：教育委員会社会教育課
活動内容：郷土の歴史文化を学び、海津市に訪れる観光客を案内する

■あいさいボランティアガイドの会
問合せ先：愛西市観光協会
設　　立：平成 25 年８月　ガイド数：35 名　　管　　轄：産業建設部産業建設課
活動内容：郷土の歴史文化を学び、愛西市に訪れる観光客を案内する等のボランティアガイド

■弥富ふるさとガイドボランティア
問合せ先：弥富市歴史民俗資料館
設　　立：平成 21 年３月　ガイド数：26 名　　管　　轄：教育委員会生涯学習課
活動内容：弥富市の歴史と文化を紹介するガイドボランティア

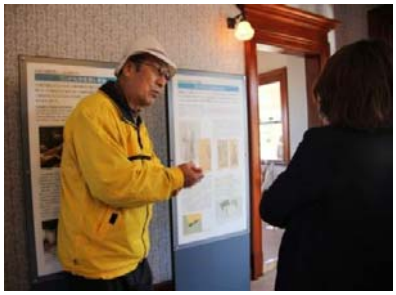
■桑名歴史案内人の会
問合せ先：桑名市物産観光案内所
設　　立：平成 10 年４月　ガイド数：49 名　　管　　轄：経済環境部商工観光課
活動内容：桑名市に訪れる観光客を案内、観光振興と地域活性化に貢献するボランティア

＜交流会＞交流記念ツアー　14:30

桑名歴史案内人の会の案内による「交流記念ツアー」は、ボランティアガイドさんたちのグループだけに、予想以上の方が参加されました。さらに「ウチの町には、こういう街並みがないなぁ」など、自身の街と比較しながら熱心に視察頂きました。

① Aコース：六華苑堪能コース（六華苑）
② Bコース:東海道散策コース(七里の渡し→春日神社→歴史を語る公園→石取会館)

Aコース：六華苑堪能コース（案内人　饒村さん）参加者　3名



和洋の様式が調和した明治・大正期の建築物である六華苑をじっくり見学しました。

Bコース：東海道散策コース（案内人　山下さん、加藤さん、田中さん）　参加者　28 名

桑名七里の渡し公園
海津市ボランティアガイドの会
ふる里おもてなし隊

七里の渡し跡　伊勢の国一の鳥居
弥富ふるさとガイドボランティア

住吉神社
あいさいボランティアガイドの会

東海道散策コースは盛況で３パーティーになり、急遽山下副会長にも引率をお願いしました。また参加者のリクエストで「寺町通り商店街」「寺町堀」も延長して立ち寄られました。「とらや饅頭さんはあの赤福さんより３年も早い創業なんですよー」と説明しましたら、お土産に買われ、店主が皆さんに一個ずつ分けて下さり、大喜びでした。「参加して良かった」「非常に満足」というお言葉も頂いて、愉しい案内が出来て、案内者も大変感謝しているとのことでした。

あとがき

昨年度実施した「住吉入江視察会・勉強会」のアンケート意見を参考にして、可動橋である玉重橋、歩道橋（住吉入江船止設備）の視察に加えて、揖斐川の三つの水門も同時に視察して、タイプの違う防潮水門の可動を実際に比較しながら知ることが出来ました。

さらに、沿川の４市の観光ガイドボランティアの交流会を開催して、桑名歴史案内人の会、弥富ふるさとガイドボランティア、あいさいボランティアガイドの会、海津市ボランティアガイドの会ふる里おもてなし隊が一同に介して、桑名の水辺を活かしたまちづくりを学び、交流記念ツアー「六華苑堪能コース」「東海道散策コース」を実施しました。

開催に際しては、桑名城お堀めぐり実行委員会、桑名東部商研、六華苑[（一財）桑名市文化・スポーツ振興公社]、ＨＥＹ総合研究所、日本車輌製造株式会社、佐藤鉄工株式会社、西田鉄工株式会社、豊国工業株式会社、株式会社 IHI、桑名市関係部局のご協力のもと、意図した以上に盛会となりましたこと御礼申し上げます。

桑名市都市整備部土木課長の出口敏幸さん、課長補佐の加古勇司さん、土木課の皆さん、操作人の南部和義さんには、吉之丸水門、川口水門、住吉水門、歩道橋（住吉入江船止設備）を説明者と連携して操作していただきました。玉重橋については、点検保守を担当する佐藤鉄工株式会社の方々に昇降作業を実行して頂き大変お世話になりました。

交流会では、六華苑和館一の間での開催について、中澤勇次苑長にご配慮を頂き、委託先の大日コンサルタント株式会社社会計画部により無事設営することが出来ました。

参加された皆様の心がけがよく、好天に恵まれましたこと心より感謝申し上げます。

それぞれの組織からの持ち寄りでの運営で、至らない点も多かったことと思いますが、事情ご賢察頂きまして、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

引き続き、木曽三川下流地区の広域観光連携にご支援ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いします。

平成 28 年 3 月吉日

木曽三川下流地区広域観光連携協議会　事務局

桑名市　都市整備部　都市整備課※
国土交通省　木曽川下流河川事務所　河川公園課

※H28.4 から都市管理課